

令和3年度 第1回平塚市地域公共交通活性化協議会

- 1 日時 令和3年5月20日（木）午後2：00～午後3：10
- 2 場所 平塚市役所本館619会議室
- 3 出席者 ○委員
石黒委員、山本委員、井上委員、大曾根委員、
武井委員、菊地委員、鳥海委員、松下委員、高橋委員、
竹腰委員、梶田委員、最上委員、今井委員、津田委員、
岩崎委員、田代委員、森委員、田中委員、
佐藤氏（露木委員代理）

○事務局ほか
平塚市まちづくり政策部交通政策課
森課長、長谷川担当長、担当3名、
福祉総務課 坂田担当長
- 4 会議の成立 平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項
に基づき、委員の過半数の出席により成立
- 5 傍聴者 0名
- 6 議題 (1) 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の
実施状況について
(2) その他
- 7 議事録 次ページ以降に記載のとおり

会 長 コロナの状況下で、地域公共交通も厳しい状況でございます。平塚市では、地域公共交通網形成計画を策定し、実施をしています。その実施状況について、議論ができればと思っておりますので、本日はよろしく願いいたします。

 着座にて議事を進行させていただきたいと思っております。本日の議題は、その他にも含めて二つでございます。まずは、議題の「1平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況について」から始めていきたいと思っております。それでは、事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局 (資料1、1-1～5について説明)

会 長 はい。ありがとうございます。

 網計画策定後に実施した取組みが資料1、手引きが資料1-2、その概要版が資料1-1となっております。それから地域内移送について資料1-3から1-5で説明していただきました。

 ご意見やご質問がございましたら、お願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委 員 今年度の取組予定の中に、神奈川大学の学部移転を踏まえた土沢地区バス路線の検討とありますが、具体的にどのようなことをお考えになっているのでしょうか。

事務局 事務局の方から、現状の考え方について説明させていただきます。

 この神奈川大学の移転の関係で、関係部署の方には色々と状況確認をしているのですが、土地利用等決まっていないというところで、情報が得られていないということでございます。そのような中で、どう進めていくのかということについては、神奈中様の方とも情報交換しながら、調整を図っていきたいと考えております。

 私共にも先ほどお話した以上の情報が入っていないので、方向性について状況を注視しているところでございます。

 以上でございます。

会 長 この件に関して、ご意見があればどうぞ。

代 理 神奈川大学への輸送が結構大きいというところで、しっかりと

した便数を走らせていただいておりますが、神奈川大学の輸送がなくなってしまうと、利用者数に合わせた輸送をしてしまうと、地区の輸送がなくなってしまうという大きな問題になってきます。

まだ2年間ありますので、そこはしっかりと平塚市の交通政策担当部署と調整した中で、どうあるべきかということを含めていくためにも、今回お願いして資料に記載していただきました。

会 長

はい、ありがとうございます。

需要がだいぶ減るということになります。跡地利用を含めて、しっかりと議論できればと思いますので、よろしく申し上げます。他にございませんでしょうか。

会 長

まずは、この概要版の資料1-1で、地域住民の方に地域公共交通に乗っていただく。バスに乗ったことがないという人がいて、乗り方がよくわからないという話も聞いたりします。そういった意味では、まずはこの地域公共交通に目を向けていただくというところで非常に良い内容ではないかと思えます。

どのように浸透させていくかということもあるかと思えます。色々なステップも作っていただいたので、この点について、こうした方が良いとか、もう少しこの辺りを入れた方が良いとかございましたら、是非言っていただきたいと思います。

これは、今後は各自治会へ説明ということによろしいですか。

事務局

ここでご承認いただければ、今後の平塚自治会連合会の中でご説明させていただき、その後、それぞれの自治会から要望があれば伺いますし、無いようであっても、交通空白・不便地域にはこちらから声掛けをしていきたいと考えております。

会 長

是非、自治会でもご説明していただき、浸透を図ってください。見ていると、色々な用語もございます。仕組みもコミュニティ交通から地域内移送、グリーンスローモビリティと色々出てきて、人によっては理解が難しいところもあるかもしれませんので、解説も含めてやっていただきたいと思います。

委 員

コロナ禍は色々社会情勢を加速させたものがあつたわけですが、公共交通もその一つと思えます。鉄道やバスは、減便という状況になっています。活性化として施策が考えられたものと思

ますが、コロナ禍を踏まえて少し見直す必要がある気がするのですが、その辺はどのようにお考えか、質問というかお聞きしたい。

事務局

当初作成した網計画は、コロナ禍の前のもので、当然コロナの影響を踏まえた施策は入っておりません。

ただ、コロナの影響が長引いて、施策として新たに考えなければいけないような部分があったら、改めてそこは検討していきたいと思います。今の段階では、これからワクチンの接種によって収束していくだろうというのが、概ねの想定でありますので、現状としては考えてはおりません。以上となります。

委員

どうなるか分からない部分もありますが、公共交通はコロナが収まっても2割は戻らないみたいな話もあったりするので、多少は考えておく必要はあるのではないかと思います。以上、意見となります。

会長

はい。ありがとうございます。

確かに、色々ありますが、見直しもそのうち実施するというのもございますので、その辺も視野に入れながら、この施策も初めに決めたものは見直しながら着実に進め、新しいものについても少しずつ検討していくということで、よろしく願います。他はございませんか。

委員

コロナ禍にあって、大量に輸送するのか、個別に小さく輸送するのかという問題があって、バスは大量に輸送するというのですけれども、利用者が少なくなってきた、神奈中さんが減便しますということで減便していくと、利用者からするとそれは密になるだろうと、たくさん乗って密になるだろうと、そういうことが起こり得るわけです。

その地域ごとで今度は利用者のニーズというか、神奈川大学だったら時間に間に合うようにいっぱい運びたいから、そこは大量に行くのだと。土屋の方で、神奈川大学がなくなった時に、例えば、利用者が市民病院に行くなど細かい輸送をする時に大きい輸送で良いのか、そういうニーズをもう少しどこかで測っていかないと、ただここは足りないですよというような、数値的なレベルで見ると、この方法が当てはまっていくのかなという考えになるのかと思います。私もタクシー業をやっておりますから、個別輸送ができるので、利用者が非常に便利だというようなことも含め

て、どこかでアナウンスしながら、その場所によって平塚でも大量に行ってもいいところと、個別に細かく分割されているところがあるので、自治会に働きかける時に、その辺も含めて、説明をしていただいて細かく抽出していかないと、コロナみたいな突然こういう事態が起きた時に、今軽く仰いましたけど、もうこれ作っちゃっているから、これで行くんだよみたいな話になると、果たして良いのですかということがありますので、もう少しそういう状況も含めて、考えていただいた方がありがたいと思います。

会 長 はい。ありがとうございます。事務局から何かありますか。

事務局 貴重なご意見ありがとうございました。こちらの手引きをもって、より地域に寄り添う形で、話は進めていきたいと考えております。委員が仰られたとおり、その地域によって状況が変わってくると思いますので、なるべく寄り添うような形で進めて相談に乗っていきたいと考えております。

会 長 はい。ありがとうございます。
現状を把握しながら、説明会をする中でニーズも含めて抽出していただくと良いのではないかと思います。色々な方法がありますから、選択できるということだろうと思いますので、その中から各自治会のニーズに合わせた交通を提供するか紹介するという
ことで、よろしくをお願いします。

先ほど減便の密ということで話がありましたが、鉄道関係はいかがですか。

委 員 ゴールデンウィークの運行で、密を助長しないように列車の本数を減らすよう要請を受けて、実際列車を減らしてみたら、全然人が減っておらず、元に戻したということがございました。

会 長 本数を減らして、人を乗せないようにやったつもりが、そこに集中してしまうこともあるわけですね。

公共交通の感染対策はしっかりやられていると思いますので、移動時での感染というのはあまり起きていないかなと思いますけれども。ありがとうございました。

バス関係でいかがでしょうか。

代 理 ダイヤ改正で、減便という話もありましたが、利用人員を見な

がら、密という部分が人それぞれの感覚論になってしまうというところが非常に大きいですが、密にならないよう1便当たりの利用者を、約40人以下になるよう、ある程度目安を持った中で、ダイヤ改正をさせていただいております。

余りにも密になるような状況にならないように、ダイヤ改正させていただいておりますが、やはり遅れとか雨の日とか、突発的な理由で、多少密になってしまって、ご迷惑をかけているところもございますが、その辺はダイヤ改正なども可能ですので、利用を注視しながら、改正等をやっていきたいと思います。

会 長

はい、ありがとうございます。

それでは、他にございませんでしょうか。

真田北金目地区の道路改修について、進捗状況と今後のスケジュールなど、補足はありますでしょうか。

委 員

平塚市土木部です。市道の北金目真田線というところで東海大学の北側、幼稚園との間の工事を行っております。現在実施している工事については、東海大学側の歩道の整備と車道の拡幅を県道の所まで行っております。反対側の北側については、道路が屈曲点で角折れになっていたところをカーブにするというような工事を実施しており、今行っている工事は6月末までに終わる予定です。

引き続き、北側、幼稚園側の歩道拡幅工事を県道側に向かって、120メートルくらい今年度行う予定です。県道までの間、約20メートル残るのですが、そちらにつきましては、県の道路改良工事に合わせて、取付けを行っていく予定でおります。

市の方からは以上です。

委 員

県の平塚土木事務所です。

県道613号という路線で、さなだ幼稚園のそばに東海大学北側交差点という交差点があります。こちらについて、令和5年度までに右折レーン設置と両側歩道の拡幅を行います。

都市計画道路で16m幅が約200m、交差点を中心に100mずつぐらい、用地買収を進めており、順調に進んでいます。県平塚土木事務所のホームページにも計画平面図を掲載しています。ご興味ある方はご覧になっていただければと思いますが、今年度中に現地看板を設置し、こんな感じになります、いつ完成しますといったことを平塚市と協働して、学生等通行される方に情報発信して

いきたいと考えています。

会 長

はい。ありがとうございます。

工事もどんどん進んでいるなというところで、あの辺りの渋滞が改善できると期待しております。ありがとうございました。

これも3年度の取組みというところで、入れさせていただいておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、他にございませんでしょうか。

では、先に次第の「その他」を進め、また気付いた点がございましたら、ご発言いただければと思います。それでは、議題2「その他」として、事務局から資料の説明をお願いします。

事務局

(資料2について説明)

事務局

続いて、委員の委嘱について、説明申し上げます。

委員の任期は、規約の中で3年と定めております。現在の任期は、平成30年6月4日から令和3年6月3日までとなっております。

来月に委嘱期間が満了するという形となりますが、引き続き持続可能な地域公共交通の実現に向けて、協議させていただきたいと考えておりますので、公募市民の方以外につきましては、基本的には継続をお願いできればと考えております。

次に、庁内委員の皆様におかれましては、網計画の策定検討時からのメンバーとなりますので、道路管理者である土木部長を除く委員の皆様におかれましては、今後は、議題等によって必要に応じてご出席いただくといった形に改めさせていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

会 長

はい。ありがとうございます。

その他ということで、「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る施策」の資料で昨年から続く支援事業の説明がありました。また、委嘱については庁内委員の方々は策定時には色々な立場からのご意見ということで関係する各部長様に出席いただいておりますが、今後につきましては、必要に応じて出席いただくということになるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、新型コロナウイルス感染防止に係る資料2について、何かご質問・ご意見等があれば、お願いしたいのですが、いかがでしょうか。

- 委員 2年続けて公共交通に対して助成いただきまして、本当に助かっております。
妊婦タクシーの助成の件も、すごく妊婦さんが喜んで使っていたいておりますので、前回も少し言わせていただいたのですが、これをコロナの対策ではなくて、今後引続き平塚市として、子育てのしやすい市ということもあると思いますので、永久にどうか、続けてやっていただけるとありがたいなと思っております。
是非、今後ご検討していただければと思います。以上です。
- 事務局 妊婦タクシーの件につきましては、市健康課が所管しておりますので、いただいたご意見の方は、再度、検討してもらえるように、話をしていきたいと思っております。
- 会長 はい。ありがとうございます。
昨年も非常に好評だと言っていたいて、今もどんどん使われているということでした。どういう使い方をされているのか、やはり病院に行かれるということが多いですか。
- 委員 そうですね。
たまたま昨日問い合わせがあって、年度が変わって、生まれるのが4月の予定の人ですと、もうその年度の券が使えなくなっちゃうと言われて、年度で区切っている規定があったので、ちょっとかわいそうなことしたなと思ったので、是非続けてであれば、そういうことがなくなるのかなとも思いましたので、お願いしたいと思っております。
- 会長 はい、ありがとうございます。
他に、ございませんでしょうか。バスの支援についていかがでしょうか。
- 代理 バスの利用が下がっている中で、市民の安全性ということで、コロナの感染症対策をやっていかなければならない中で、厳しい中でも新たに支出が増える、そういったところに対して、市の方で補填をしていただいて、大変ありがたく使わせていただいております。
今年度も継続してやっていただけるということで、引き続きよろしくお願いいたします。

会 長 コロナもまだまだ収束が見通せませんが、ワクチン接種が平塚市でもどんどん進んでいくことと思います。ニューヨークなどでは多くの人へのワクチン接種が進み、マスク無しで良いというところもあり、移動しやすい環境になりつつあるかと思います。他にございませんでしょうか。

委 員 失礼な言い方になってしまうと恐縮ですが、県では色々なところで交差点改良や歩道整備を行っています。右折レーンが欲しい、もう少し道路が広がれば渋滞が減るのになど、委員の中にも思っている方がいると思います。この協議会の規約第8条に協議会には部会を置くことができるとする規定があります。この場では、なかなか協議が進まない気がして、提案ですが、先ほど申し上げたような、例えば、道路に特化した話をバス会社やタクシー会社からヒアリングして、部会で調整し、それを第2条第2項に規定する連絡調整ということで、この活性化協議会に諮れば、より情報共有ができると思います。

 例えば、神奈川大学の移転に関連して、県では、今後、土屋橋交差点辺りから1キロぐらい狭い道路部分の拡幅に着手しようとしているのですが、一方で神奈川大学がなくなってバスがなくなってしまうと、筋違いなことになってしまいます。そういうことも含めると、是非この協議会の部会で、とりあえず3つぐらい県と国に要望しようかなど、できればと考えています。

 そういう形で進めれば、非常にこの計画の目標が達成できるのではないかと思っています。毎年委員も変わってしまうので、そこから協議会のやり方を変えられたらどうかと思いますので、大変失礼ながら、ご提案させていただきました。

会 長 はい。ありがとうございます。

事務局 交通政策課長の森です。ご意見ありがとうございます。
 個別の課題については、それぞれ問題が起きた時に、国や県などと調整を個別にさせていただいてる中で、なかなか進まないものもあります。そういったものは、こういった協議会を活用して、色々情報共有してどうしたらいいのか、皆様のお知恵を拝借しながら、出来たら良いと考えます。

 先ほどの施策の話ですけれども、資料1の参考資料として裏面に、こちらが具体的な取り組んでいく内容という形で掲載させて

いただいております。平塚市地域公共交通網形成計画の施策全体を一覧で見られるような形になっております。網計画で掲げている取組みは、この一覧で見ることができるといように考えておりますので、よろしく願いいたします。

まずは皆様の方で課題となっていることを事務局から問いかけるような形で取りまとめさせていただいて、まとめた中で、何かできるかということをもたまた皆様の方にご提示して、議論いただけたらと思っておりますが、いかがでしょうか。

会 長

はい。ありがとうございます。

特定課題を取り上げるのであれば、作業部会を設置して、やっていった方がよいのではないかと思います。先ほどの交差点改良などは、運転手の方や現場に住んでいる方などに意見聴取をすれば、ある程度出てくるのではないかと思います。

この活性化協議会は、皆様と一緒に地域の公共交通をより良い方向に持っていくかを協議する場だと思います。事務局の方でまず、どんな困り事があるのかと聴取しながら、部会を設置した方がよいのかを含めて、検討していただければと思いますので、よろしく願いできればと思います。

他にございませんでしょうか。やはり、現状コロナの状況が気になりますので、もしよろしかったら、状況を教えていただければと思います。あとは地域の方々から、困り事がありましたら、皆様に情報共有していただけたらと思います。

代 理

バスの状況ですけれども、当社は今年で100周年を迎えるのですが、昨年度に関しては、初めての赤字決算となっております。今年度に至っても、前々年の2019年のベースまで戻るのはまだ程遠い状態となっております。コロナ禍の中で立てた目標値にも、まだ達しておらず、依然厳しく、ご利用が戻ってきてない状態でございます。2020年4月、5月に関しては対前年の5割を切るような状況です。

会 長

やはり、一回目の緊急事態宣言の時は。

代 理

ガクッと落ちました。そこから徐々に戻ってきて、また2回目の緊急事態宣言と感染者の増によって、減っていったという状態で、減ってからは波を打っているのですが、利用者が戻りきらない状態です。

会 長 はい。鉄道はいかがですか。

委 員 昨年4月の緊急事態宣言の時は、ほとんど人がいない状況でした。

2回目の緊急事態宣言の時には、学校なども継続されていたということもあって、コロナ前と同じ状況にはなっておりませんが、昨年の4月、5月程少ない状況にはなっていなかったというところではあります。コロナ禍で企業も働き方を色々変えてきているというところがあって、いわゆるテレワークや在宅でお仕事されるという方が増えていますし、もう定期券を支給しないとか、そういう形も出てきておりますから、おそらくコロナが完全に収束しても、特に定期券については、8割とかそのぐらいまでしか戻らないのではないかと考えています。

そういう観点で、私どもも大変な赤字の会社になってしまいましたが、経費を削減したりとかそういったことが非常に求められているところですので、平塚市のご協力をお願いする機会もあろうかと思いますが、よろしく申し上げます。是非、コロナが終わった暁には、電車に乗っていただけたらというお願いもさせていただきます。

会 長 はい、ありがとうございます。タクシー業界はどうですか。

委 員 タクシーも緊急事態宣言があって、ほとんどお客さんもいなくて、今現在も夜は飲み屋さんも締まっている状態で、6割7割ぐらいしか戻っていないというのが現状です。

観光バスは1割2割しか動いてない状況で、車庫が展示会みたいな感じになってしまっていて、本当に大変な感じですけども、コロナが収束してもらうことを願うしかありません。

会 長 観光は、GoToキャンペーンが実施された時はいかがでしたか。

委 員 個人的な旅行は、皆さんたくさん行かれたのですが、やはり団体での旅行というのがほとんど皆無な状態で、まだまだその状態が続いています。

会 長 はい、ありがとうございます。

委 員

市老連の方は、会員数がだいたい5,000人います。昨年に引き続き、事業はほとんど中止になっています。非常に皆さんがコロナに敏感になっていることは事実です。コロナのワクチンの件についても、現場では受ける受けないという、二つに分かれていることが多いです。大体100人中50人ぐらいは受けないという意見を聞いており、非常に厳しいなと思っております。

2、3日前にNHKのテレビで、地域支援事業ということで、お年寄りが買い物に行くことに非常に不便を来しているという内容で、広島尾道の特集したものが放映されておりました。どういうことをやっているかと言うと、地域支援センターでAI自動運転による車両を出しておりました。1日に朝昼晩と3回、場所を決めて、そこへ何時に集まってくださいと。大体少人数で集まって、5、6人が朝昼晩で、大体15人ぐらいでしょうか、スーパーへの買い物、病院、銀行、郵便局に行くといった際の足がないために、そういう面で、尾道という地域では、非常に活性化されていて、お年寄りに優遇されてやっておりました。

私は去年も1年間、委員を務めさせていただきまして、色々と検討してまいりました。年寄りを大事にしてくださって、ある程度この地域の活性化のために、地域コミュニティということで先ほどもお話ありました通りで、手厚い支援を、平塚市でも非常にやってくださっています。現場に行くと、色々と年寄りの意見を聞いてみると、やはり地域的には平塚は須賀関係や土沢関係など、少し市内から離れている場所、そういうところで、支援のコミュニティというものを平塚市もやってくださっているわけです。そういう状況下で、非常に年寄りとしては助かっているというご意見もいただいております。

このコロナの件につきましては、早く収束していただければ良いのですが、今はとにかく私達市老連の中では、もう前半の事業はほとんど無いもので、中止ばかりですから、年寄りの皆さんは、非常にストレスが溜まってしまっていて、市老連の中でも、今はこういう時だから、子供たちを誘うのではなくて、自ら個人個人が自主的に散歩に出るとか、というように工夫をして、体を健康にさせていただく必要があります。私たち夢クラブというのは、あくまでも年寄りには健康でなければいけないということが趣旨ですから、皆さんも病気をせずに、また医療関係にもお世話にならないで、健康に年をとっていかれるということを目的として、一生懸命年寄りにアドバイスをして、取り組んでいるような状況です。

以上です。よろしく申し上げます。

会 長 コロナ禍で、お年寄りの方は大変だと思えますが、やはり、健康を考えると外出していただくということは非常に良いことと思えますから、そこを交通が支えていければなと思えます。

 貴重なご意見ありがとうございました。はい。他にございませんでしょうか。関連して、最近自転車が増えたという話も聞きますが、事故等々はどんな感じでしょうか。情報がございましたら、お願いいたします。

委 員 事故について、平塚は自転車事故が昔から多く、今年も例年並みに事故は発生しております。県下的には昨年のコロナ禍で人身事故件数は減ったのですが、今年は県下全署で増えている状況です。死亡事故は減っており、全国ワースト5位で、マイナス17人ということになっております。

 5月は、マナーアップ月間ということで市と連携してやらせていただいております。

会 長 はい。ありがとうございます。

 まだコロナで、色々な分担で出来ることを連携しながらということも、考えなければいけないかなとも思います。他はございませんでしょうか。他に無いようでしたら、以上で議題を終了させていただきます。進行を事務局に返したいと思えます。

 どうもありがとうございました。

以 上